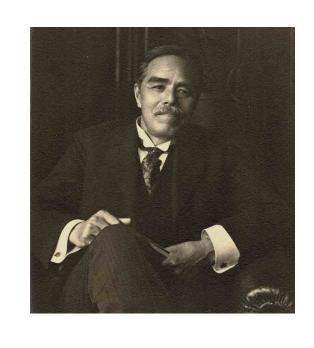
木範久著

四六判・並製・280 頁・本体 2700 円 (税込定価 2970 円) ISBN 978-4-400-21341-3 C1016



- 進化論をどう理解したか
- 最初の結婚はなぜ破綻したのか
- 新渡戸稲造は親友だったか

- 「不敬事件」はなぜ大騒ぎになったか
- 無教会主義は教会の否定か
- 好きな日本人牧師はいたか (洗礼)をおこなったか
- 他教徒との交流はあったか
- 戦争はすべて否定したか
- 人生相談に応じたか
- なぜ学校を創立しなかったか
- 桜の花に何を思ったか 『羅馬書の研究』はだれの著作か
- 文学者たちは棄教したのか **福祉施設で働いた経験は活かされたか**
- 生貧しかったか

- 最期は自然死で迎えたか

要する24の「謎」を取り上げ、その人格と思想に迫る。 離れたわけは」「天皇をどうみたか」など、更なる解明を た著者が、「なぜ最初の結婚は破綻したのか」「新島襄から 日録』全12巻を世に問うなど、終始内村研究を主導してき 70年にわたり内村と向き合い続け、 著者が現時点で最も正確と考える年表を付す。 記念碑的な『内村鑑三

鈴木範久(すずき・のりひさ)

学芸文庫、二〇一九)、『内村鑑三交流事典』(同、二〇二〇)、『聖書語か 文館、二〇一七)、『聖書を読んだ三〇人―夏目漱石から山本五十六まで』 ら日本語へ』(教文館、二○二三) ほか。編集『内村鑑三全集』全四○巻 (日本聖書協会、二○一七)、『文語訳聖書を読む− 村鑑三』(岩波新書、一九八四)、『内村鑑三日録』全一二巻(教文館、 教授。著書『明治宗教思潮の研究』(東京大学出版会、 一九九三-人と思想』(岩波書店、二○一二)、『日本キリスト教史─年表で読む』(教 一九三五年生まれ。東京大学卒業。専攻宗教学宗教史学。 -九九)、『聖書の日本語』(岩波書店、二〇〇六)、『内村鑑三の -名句と用例』 (ちくま 一九七九)、『内